

科目ナンバー	SOC-2-010-k			科目名	観光概論		
教員名	岡井 宏文			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	この授業では観光について学んでいきます。現在、世界の旅行者数は年間12億人以上、日本を訪れる外国人も年々増加し、年間3,000万人に迫ろうとしています。「インバウンド」「地方創生」「まちおこし」などといった言葉とともに、観光に対する期待は高まりを見せています。一方、イスラーム諸国から訪れる観光客の増加など、これまであまり身近でなかった人々や価値観と関わる機会も出てきており、観光の現場では、様々な試行錯誤が続いています。観光とは、まさしくグローバル(グローバル+ローカル)な現象であり、また異文化の人々と共に生きる共生のマインドが求められるものといえるでしょう。グローバル化時代を生きる我々は、現代の観光をどのように捉え、何を学び取ることができるでしょうか。この授業では、観光に関する基礎的な知識を得たのち、様々な観光の現場を垣間見て、現状と課題、そして今後の展望について考えていきます。						
到達目標	この授業で身につけてもらいたいと考えている力や視点は次の通りです。①われわれにとって身近な観光を、幅広い視野で捉える力。②現在の観光の展開状況を理解し、現状と課題について考える力。③国際的視野に立ちながら地域の魅力や課題を発見できるグローバルな視点。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	①パワーポイントや各種資料をもちいた講義形式の授業に加えて、履修者数によっては②配布資料や映像資料を活用したグループワーク、ディベートなどのアクティブラーニングを取り入れる予定です。観光に関する基礎的な知識を得ることを目指すとともに、教員や受講者同士での議論を通じて現代日本における観光の現状と課題や、将来の観光について考察を行い、実践的に理解を深めていきます。毎回授業のはじめに前回の内容の復習と質問への応答を行います。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	特に定めませんが、議論や課題など授業に積極的に取り組んでください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	成績評価は、次の配分にて行います。 授業への参加態度：出席状況、授業での発言、グループディスカッションなどへの参加度・貢献度、課題の提出状況(50%) 期末課題：期末レポートの提出(50%) 以上から、総合的に評価します。						
教材	毎回資料(レジュメないしスライド)を配布します。予習復習のための資料を適宜提示します。						
参考図書	前田勇編著『新現代観光総論(第2版)』学文社,2018年。 青木義英ほか編著『観光入門ー観光の仕事・学習・研究をつなぐ』,新曜社。 竹内正人ほか編著『入門 観光学』ミネルヴァ書房,2018年。 安村克己ほか編著『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房,2011年。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	観光へのとびら：授業の目的や進め方の説明。 授業の概要と到達目標、スケジュール、評価方法、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。						
授業外学修内容	講義の最後に課題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、関連記事の検索を行う。検索した記事は次回の授業に持参すること。					時間数	2
2週目							
授業学修内容	観光の歴史						
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	観光の効果と影響						

授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	観光動機		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	観光対象		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	持続可能な観光とエコツーリズム		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	グリーンツーリズム／農泊		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	宗教ツーリズム		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	宗教ツーリズムと聖地巡礼		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	コンテンツツーリズムと聖地巡礼		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	聖地巡礼と地域		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	ダークツーリズム		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	観光政策		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 今回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2

14週目					
授業学修内容	国際観光の動向				
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。			時間数	2
15週目					
授業学修内容	全体振り返り これまでの学修内容を振り返り、観光の現状と課題を整理し、これからの観光のあり方について考察を深めます。				
授業外学修内容	授業の内容を復習し、資料および関連図書を読み込みながら、自らの考えをまとめます。			時間数	4
上記の授業外学修時間の合計				32	
その他に必要な自習時間				58	
Number	SOC-2-010-k		Subject	Introduction to Tourism	
Name	岡井 宏文 (Okai Hirofumi)		Year and Semester	First semester for 2020	Credits 2
Course outline	0 This course will study tourism. Number of tourists worldwide now add up to over 1.2 billion a year, and those that choose Japan as destination is on the rise, currently at 30 million tourists a year. Expectations towards tourism is high, with terms such as “Inbound”, “Chihou-sousei”, and “Machi-okoshi” circulating widely. As a result, we must also note that local residents are now engaging with people and their cultures they have previously never been familiar with. One of such examples, is brought through the increasing number of tourists from Islamic countries. Tourism indeed is a glocal (global + local) phenomenon, and it emphasizes the need of a mindset open to coexistence with others of differing cultural backgrounds. Living in the globalized world, what can our views be on the tourism of today, and what can we learn from it? In this course, we first acquire basic knowledge regarding tourism, before we examine various scenes of tourism, in order to deepen our understanding on its current state, its problems, and its future.				